

# 術前訪問

## 目的

- ICU に入室する患者および家族に、ICU で行われる治療・環境を理解してもらい、円滑な治療の遂行・患者および家族の精神的ストレスの緩和につなげる。
- 患者が ICU の環境、術後経過を理解できるよう情報提供するとともに、患者の個別性をふまえた看護ケアを提供するための情報収集を行う。

## 必要物品と準備

- 術前訪問シートメモ 1 枚
- パンフレット「手術後、ICU に入られる患者様へ」1 部
- デモ物品
  - 心臓血管外科：NPPV マスク、AAA は硬膜外麻酔 PCA システム
  - 胸部外科：硬膜外麻酔 PCA システム
  - その他：主治医に確認

## 訪問の流れと解説

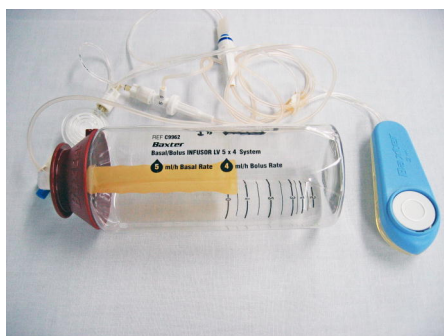
手術後 ICU 入室予定の患者の確認：ICU 入室予定リストを確認し、日勤リーダーが訪問担当者を決定する  
手術前日の日勤帯で時間調整して行う

訪問の流れとポイント	解説
• 訪問前に看護カルテより情報収集しておく	• 心臓血管外科の場合には医師が作成した術前サマリーを確認する（前日までに ICU に届く）
• 入院病棟に連絡を行い、訪問が可能な状況であるかを必ず確認する	• 午前中は主治医や麻酔科からの説明や術前処置、検査などが多く、午後に訪問することが多い。術前の透析の場合には終了時間が夕方遅くなることもあるため、その場合には連絡後、透析室にて行う。
• ベッドサイドに訪問し、パンフレットに沿ってオリエンテーションを行う	• ICU と一般病棟の違いや術後の状態について説明する。特にモニターなど機器の音がすることを伝えておく。 • パンフレットを読むことができない場合も多いため、一通り口頭で説明していく。不安が強く、緊張状態にある場合には負担が大きくなるように配慮する。 • 手術後は点滴や体にたまる不要な液を出す管が入っていること、人工呼吸器装着中は口から入っている管のために声が出ないことを説明しておく • 傷の痛みや眠れない時は薬を使うことができるため、我慢せず看護師に伝えることを説明する。
• 手術に対する受け止め方の把握	• 主治医より手術の説明を受けて理解されているか、患者の言動及び表情の変化を観察する。心理的な問題や理解力の程度を把握する。

<ul style="list-style-type: none"> <li>●抑制の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●手術後、麻酔からの覚醒途中では、無意識で点滴類などを抜いてしまうことがあり、生命の危険が生じるため、両手を固定させていただくことがあると説明し、同意を得ておく。覚醒し、抜管すればすみやかに解除することも説明しておく。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●ICU フロアー内の見学希望の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●希望があれば、ICU スタッフに連絡し、案内する。処置中などでフロアーが落ち着いていない場合には、前室～入り口付近までの見学にするなど考慮する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●病棟看護師や主治医からの情報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●患者や家族の情報を確認する。悪性疾患は告知の有無や手術説明内容を確認しておく。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●患者や家族からの要望の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生活習慣などで環境調整が必要な事項がないかどうかを確認する。腰痛などでのマットレス変更や枕の持参など事前に話し合っておく。</li> <li>●普段使用している薬（点眼薬や軟膏、睡眠薬など）があるか確認する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●その他の情報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アレルギーや義歯の有無、心臓血管外科の場合には足背動脈の血流確認を行う。当日の家族待機状況の確認をしておく。</li> </ul>

## デモによる説明：PCA NPPV マスク

### PCA のオリエンテーション



硬膜外麻酔のシステム  
バクスターインフューザー® LVBB



バクスターインフューザー®用 PCM 2ml  
PCM リザーバーボタン

硬膜外麻酔・PCAのシステム説明とボタンを押すデモンストレーションを行い、患者にも実際に行ってもらい、ボタンを押す感覚を習得できるかどうか確認する。高齢者や手指に力が入らない場合には自己管理が難しいこともある。その場合には看護師がボタン操作を行うため、創痛の増強時には看護師へ伝えるよう説明する。



NPPV 用フェイスマスク

患者に術後、NPPV 管理を行う場合があることを説明しておく。  
NPPV マスクを実際に見てもらい、マスクを装着した場合の状況を体験してもらおう。

### スキル習得チェックポイント

- 術前訪問の目的が理解できる
- 術前訪問の対象患者の確認ができる
- 術前訪問の訪問準備ができる
- ICU のオリエンテーションができる
- ICU の見学、オリエンテーションができる
- PCA、NPPV のオリエンテーションができる
- 医師や病棟看護師より情報収集ができる
- 術前訪問の記録ができる